

令和6年10月29日
運輸安全委員会

国際鉄道事故調査フォーラム^{ライーフ}(RAIIF)の結果概要

<フォーラム概要>

名称 第1回国際鉄道事故調査フォーラム
(Railway Accident Investigation International Forum, RAIIF)
日程 令和6年10月23日(水)～25日(金)
場所 ベルサール新宿グランド／コンファレンスセンター(西新宿)

<参加者>

日本を含む11か国・地域(別添1)から125名(トップ5名)

<発表等概要>

1日目 基調講演(奥村議長)

- ・RAIIF の開催趣旨
- ・世界の鉄道事故調査の概要
- ・日本の国際的技術協力の取組 など

各国・地域のトップ達からの発表

- ・各国・地域の鉄道の概要
- ・主な事故事例 など

パネルディスカッション

- ・能力の向上や体制の強化に向けた取組の重要性

2日目 特徴的な事故調査事例、安全に関する取組

- ・鉄道事故調査の能力向上
- ・自然災害に関する事故調査の共有
- ・事業者の安全性向上に向けた取組 など

<議長総括>(別添2)

- ・国際協調の重要性と未来における発展性を強調
- ・今後の取組:「情報共有プラットフォームの構築」及び「技術協力の拡大」
- ・次回は2025年に台湾で開催



基調講演を行う奥村第1回 RAIIF 議長

【問い合わせ先】

運輸安全委員会事務局 総務課 国際渉外室

森井（内線 161）、小山（内線 163）

TEL 03-5367-5025（代表）、TEL 03-5367-5029（直通）

(別添1)

参加国・地域一覧

トップの参加	国・地域
○	日本
○	オーストラリア
○	台湾
○	シンガポール
○	韓国
	スウェーデン
	イギリス
	インドネシア
	オランダ
	ニュージーランド
	マレーシア

第1回RAIIF議長総括

- 第1回国際鉄道事故調査フォーラム(RAIIF)は2024年10月23日に発足し、同日及び24日に東京で開催された。25日には実際に施設や設備をご覧いただき、議論と知識を深めることとなっている。
- フォーラムには、11の事故調査機関、加えて関係組織からも参加があり、合計125名の参加があった。
- フォーラムでは、1日目はパネルディスカッションを含め計9件の発表、2日目は計13件の発表が行われ、各事故調査機関の政策や事故調査事例における考察、鉄道事業者による安全に対する取組の発表に対し、非常に活発な議論が行われた。
- 発表及びパネルディスカッションの議論を踏まえ、議長から、今後の鉄道分野における国際協調の重要性と未来における発展性を強調し、以下の取組を推進することを宣言する。
 1. マルチでの情報共有プラットフォームを構築し、鉄道事故調査機関のトップ同士及び担当者同士のネットワークをより強化すること
 2. 鉄道事故調査機関間における技術協力を拡大すること
- 次回のRAIIFは2025年に台湾で開催される。台湾で再びお目にかかり、活発な議論が行われることを願う。

2024年10月24日

奥村 文直

第1回RAIIF議長